

令和8年度 第3回
希望郷いわてモニターアンケート

岩手県庁舎の再整備に関する意識調査

令和8年9月

岩手県総務部管財課

実施概要

- 県庁舎再整備基本計画の検討において参考とするため、以下のとおり県民アンケートを実施。
- なお、県公式アカウントによるLINEアンケートも同時実施。

目的

基本構想の内容を前提に、県庁舎に期待する役割や重視すべき観点（理念）に係る県民意見を聴取する。

実施期間

6月30日～7月14日

対象・方法

方法	モニター数	回答数	属性
希望郷いわてモニター	199人	138人	地域、年齢、性別等を考慮して選考
LINEアンケート	46,980人	1,961人	岩手県公式アカウント登録者（6/30時点）

集計方法

- 回答毎の単純集計を実施。
- LINEアンケートを含めた回答を用いて、地域別、年代別にクロス集計を実施。
（回答数が限定されるため、希望郷いわてモニターのためのクロス集計は未実施）

希望郷いわてモニター調査項目

令和 8 年度 第 3 回

希望郷いわてモニターアンケート質問書

課題名	岩手県庁舎の再整備に関する意識調査
-----	-------------------

令和 8 年 6 月

岩手県総務部管財課

岩手県庁舎の再整備に関する意識調査

岩手県総務部管財課

I 趣旨

県では、築60年が経過し、耐震性能の不足や老朽化が課題となる県庁舎の再整備について、昨年度実施した県民アンケートなどを踏まえ、県庁舎再整備に関する基本理念や整備の方向性を示す「基本構想」を策定しました。この基本構想を踏まえ、今年度は、事業実現に向けた基本的な枠組みとなる「基本計画」の検討を進めています。

今回のアンケートは、将来の県庁舎に期待する役割や重視すべき機能などについて、県民の皆さまからのご意見やご期待について幅広く伺いしたいと考えております。

お寄せいただいたご意見は、今後の基本計画の検討において、県民の視点を反映するための貴重な資料として活用させていただきます。

II 設問（以下の設問について、別紙回答用紙の該当欄にご記入願います。）

問 1 あなたの年齢、性別、居住地を教えてください。

(1) 年齢

- ① 20 代（10 代も含む）
- ② 30 代
- ③ 40 代
- ④ 50 代
- ⑤ 60 代
- ⑥ 70 代以上

(2) 性別

- ① 男性
- ② 女性
- ③ 答えたくない

(3) 居住地

（市町村名： ）

問 2 将来の県庁舎にどのような役割を期待しますか。あてはまるものをすべて選択してください。

- ① 行政手続や相談の場
- ② 政策の企画・立案や調整を行う拠点
- ③ 災害時の防災・危機管理の中心拠点
- ④ 官民共創や地域連携を進める拠点
- ⑤ 県民が利用・交流できる開かれた施設
- ⑥ 県の象徴となる施設（デザイン性・シンボル性）
- ⑦ その他（ ）

問 3 県庁舎の整備にあたり、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

- ① 多少コストがかかっても、県の象徴となる魅力的な庁舎とするべき
- ② 機能性を重視し、効率的でシンプルな庁舎とするべき
- ③ できる限りコストを抑えた最小限の庁舎とするべき

問 4 県庁舎の再整備にあたり、特に重視すべき事項はどれですか。（最大 3 つまで選択可）

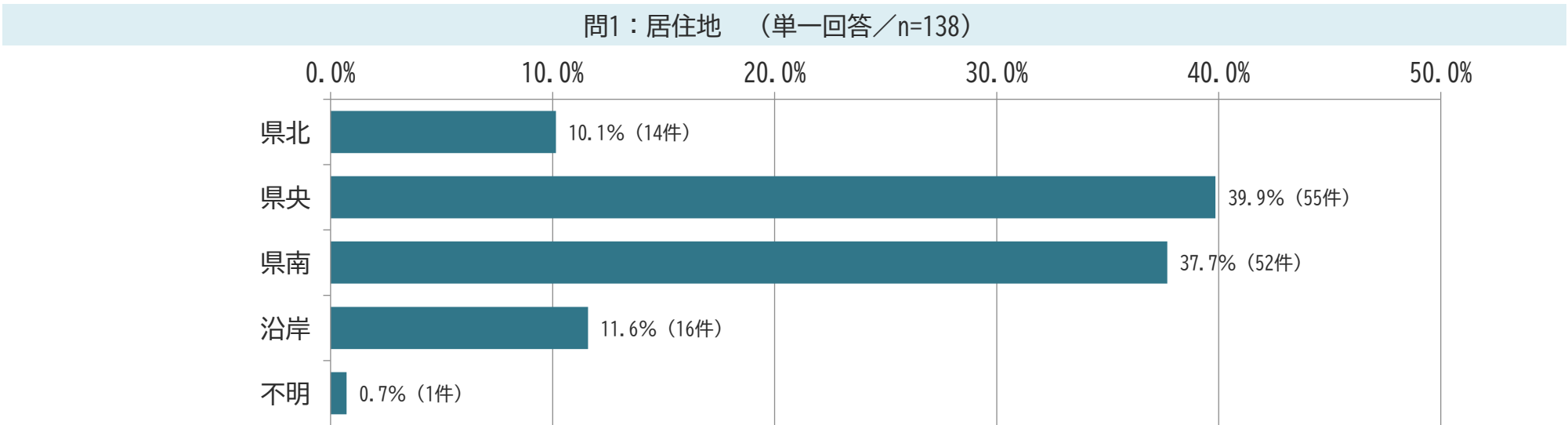
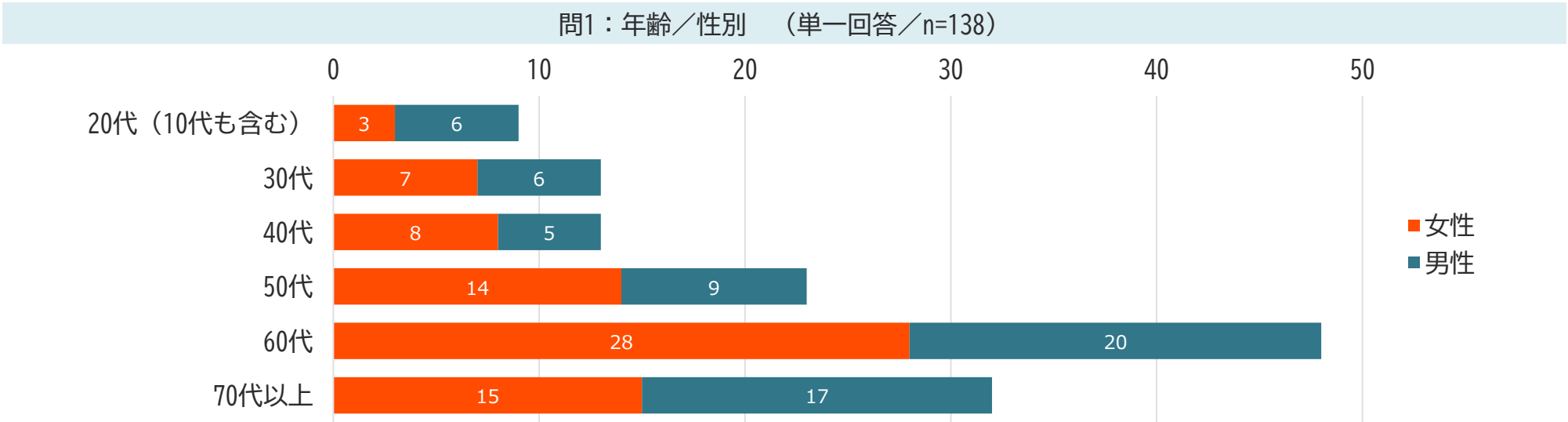
- ① 防災性（耐震性能や防災機能の確保）
- ② 機能性（業務効率や使いやすさ）
- ③ 利便性（交通アクセスや分かりやすさ）
- ④ 開放性（県民利用・交流機能）
- ⑤ 環境性能（脱炭素、省エネルギー等）
- ⑥ コスト（整備費用および将来負担の抑制）
- ⑦ 事業期間の短縮（早期着工・工期短縮）

問 5 将来の県庁舎のあり方として、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

- ① 防災機能を最優先とし、防災性を重視した庁舎とする
- ② 環境配慮や持続可能性を重視した庁舎とする
- ③ 官民が連携・協働する拠点としての機能を重視する
- ④ 働きやすく効率的な行政運営を重視した庁舎とする

希望郷いわてモニター回答者の属性（年齢・性別・居住地）

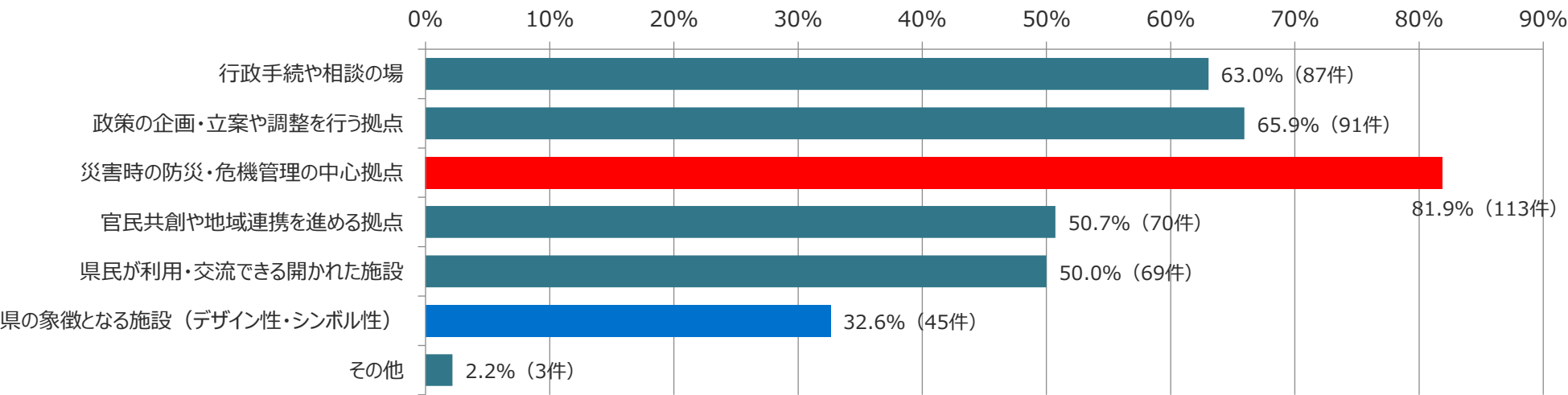
138名から回答が得られ、回答者の属性は以下のとおり。



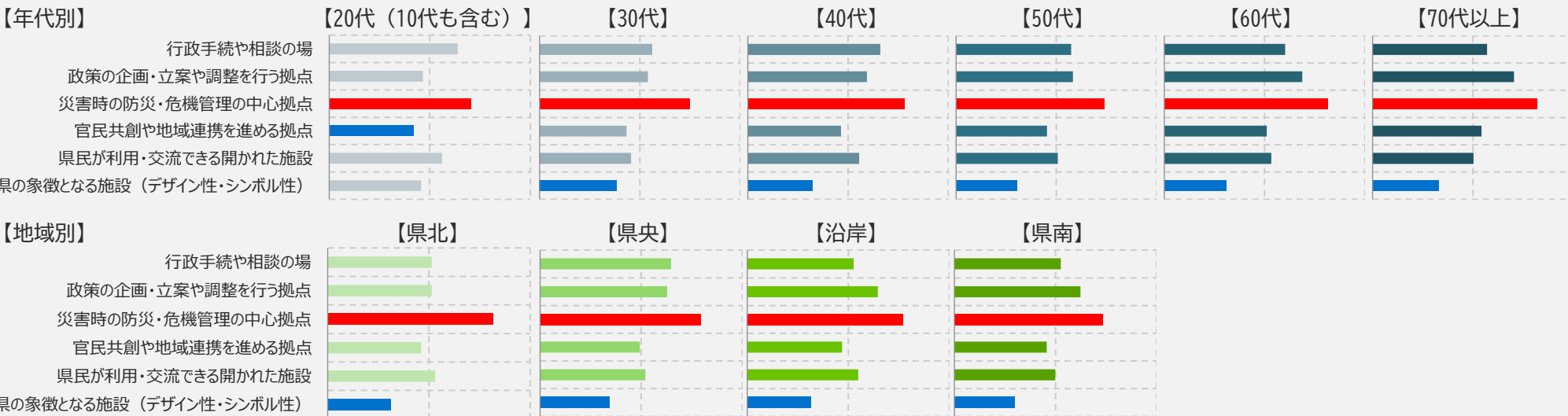
将来の県庁舎に期待する役割

- 「災害時の防災・危機管理の中心拠点」が最も高く、「県の象徴となる施設（デザイン性・シンボル性）」が最も低い。
- デザイン性・シンボル性よりも、災害時の拠点、平時の行政・県民サービスを担う実用的な拠点性が望まれている。
- 同時期に実施したLINEアンケートを含めた年齢別・地域別クロス集計においても、全ての区分でほぼ同様の傾向となっている。

問2：将来の県庁舎にどのような役割を期待しますか。あてはまるものをすべて選択してください。（複数回答）



同時期に実施したLINEアンケートを含めた回答の年齢別・地域別クロス集計結果 ※その他の回答は除外している。



（参考）将来の県庁舎に期待する役割（その他記載）

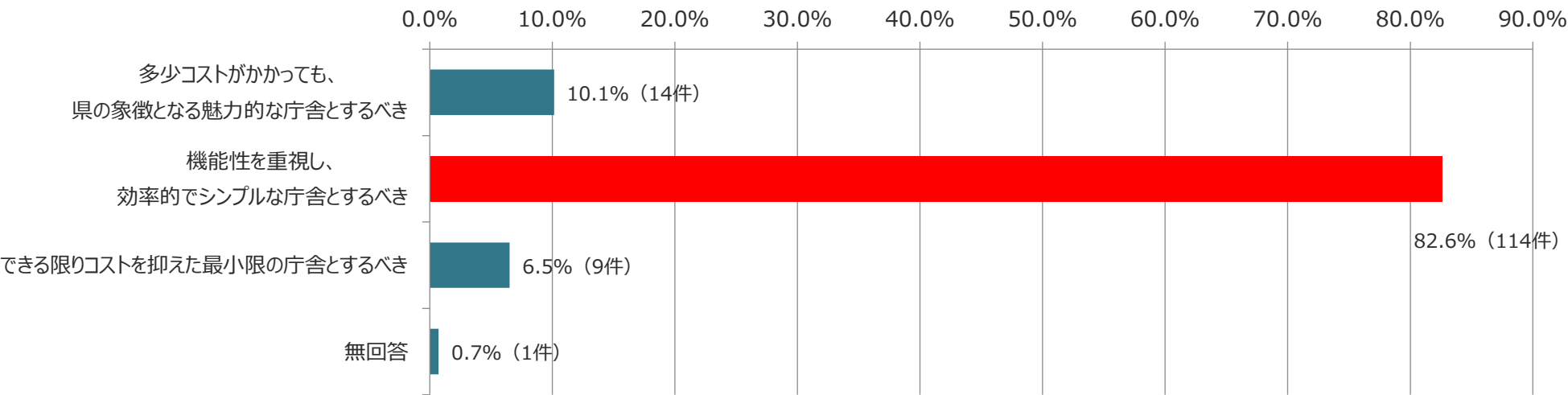
問2：将来の県庁舎にどのような役割を期待しますか。あてはまるものをすべて選択してください。（複数回答）

- 残業をしない、県民の手本となる役割
- 県民減少する中で、
 - 多目的機能を含めた機能集約
 - 実務優先、実利型の建物 県民来庁回数、関心度
 - 次世代への負担を可能な限り少なく
 - アクセス、利便性
- 親しみや利用しやすい施設、もっと気軽に入れる施設

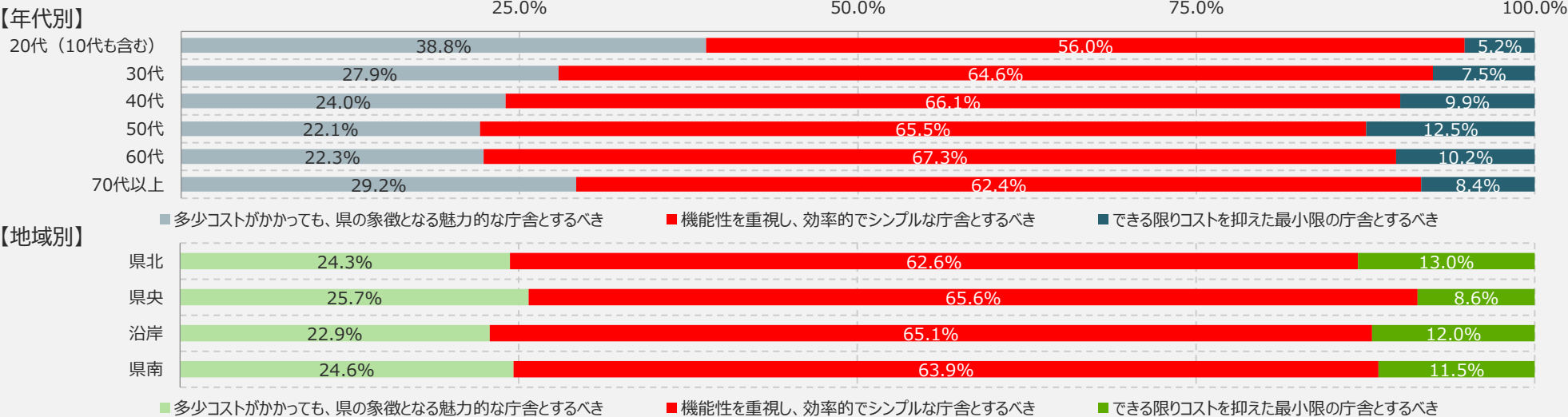
県庁舎再整備の考え方

- 「機能性を重視し、効率的でシンプルな庁舎とするべき」が82.6%で最も高い。
- 必要な機能を確保しつつ、効率性や合理性に配慮したシンプルな庁舎が求められている。
- 同時期に実施したLINEアンケートを含めた年齢別・地域別クロス集計においても、全ての区分で同様の傾向となっている。

問3：県庁舎の整備にあたり、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（単一回答／n=138）



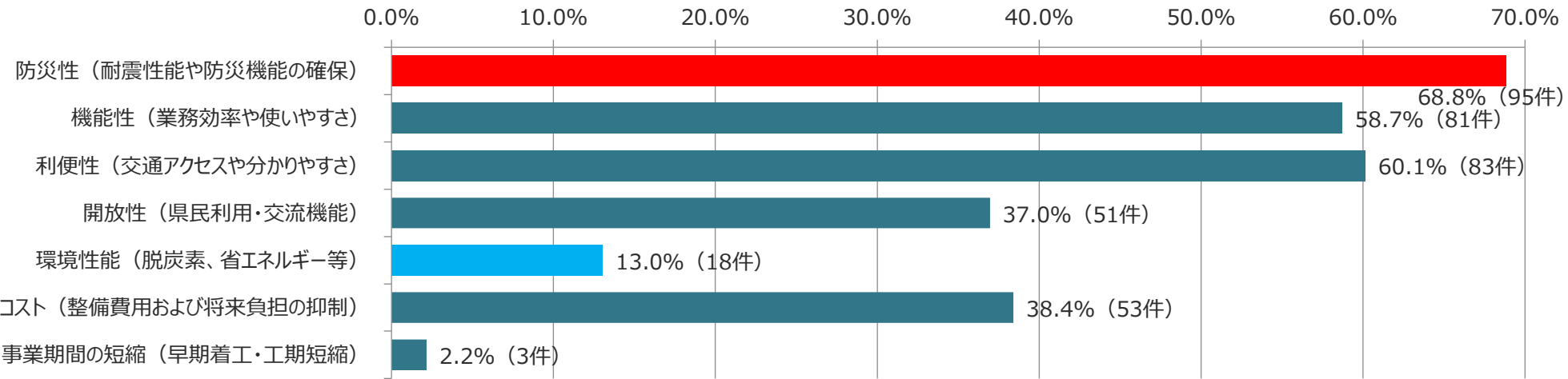
同時期に実施したLINEアンケートを含めた回答の年齢別・地域別クロス集計結果 ※無回答の回答は除外している。



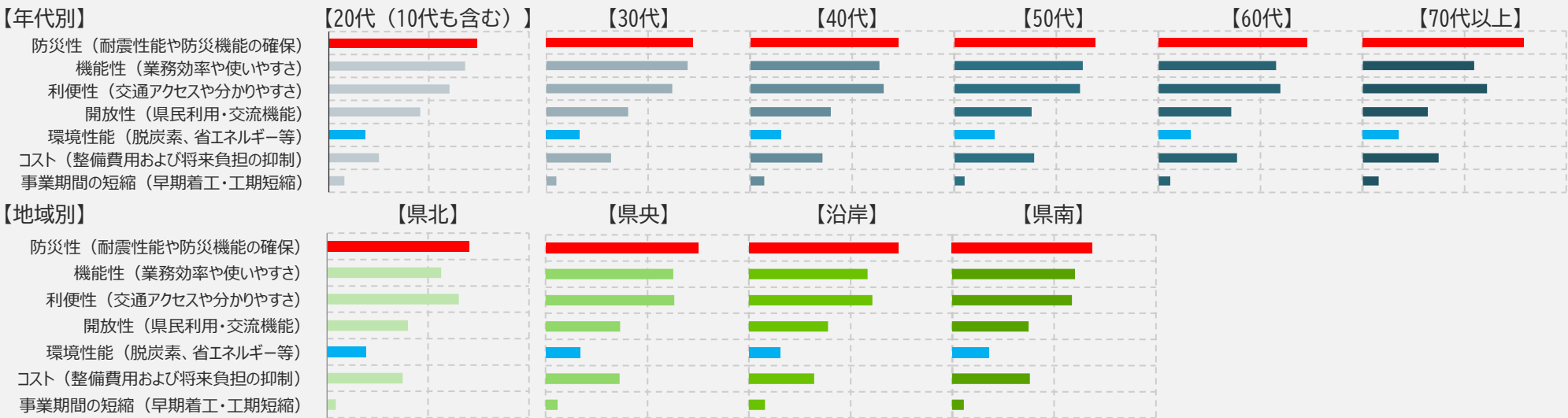
県庁舎の再整備で重視すべき事項

- 「防災性」が68.8%で最も高く、性質面での事項において「環境性能」が13.0%で低い。
- 同時期に実施したLINEアンケートを含めた年齢別・地域別クロス集計においても、全ての区分で同様の傾向となっている。

問4：県庁舎の再整備にあたり、特に重視すべき事項はどれですか。（最大3つまで選択可）



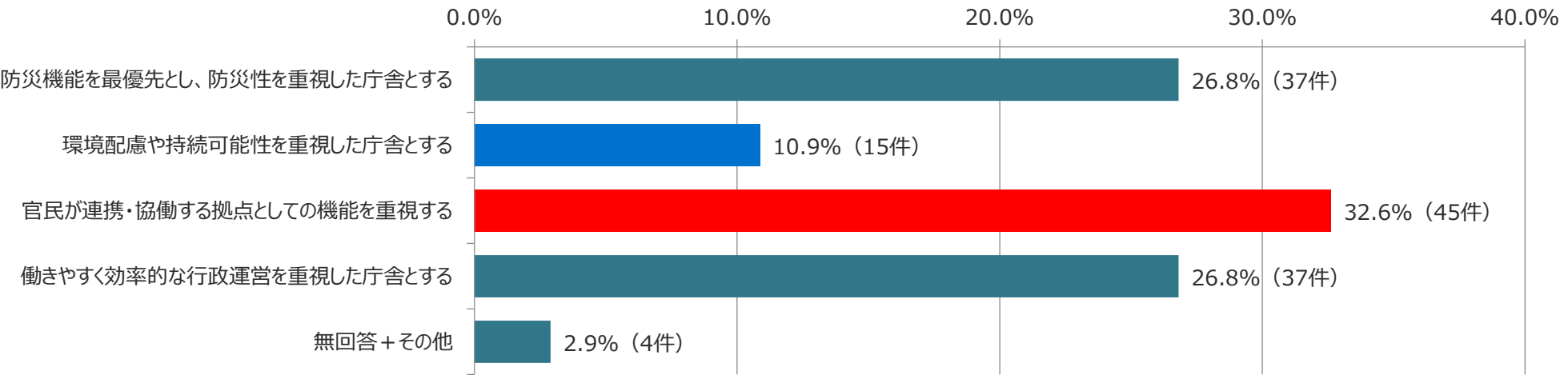
同時期に実施したLINEアンケートを含めた回答の年齢別・地域別クロス集計結果



将来の県庁舎のあり方

- 「官民が連携・協働する拠点としての機能を重視する」が最も高く、「環境配慮や持続可能性を重視した庁舎とする」が最も低い。
- 一方で、同時期に実施したLINEアンケートを含めた年齢別・地域別クロス集計においては、「防災機能を最優先とし、防災性を重視した庁舎とする」が最も高い結果となっており、比較的県との関りが強いアンケート対象者の特性が表れたものと考えられる。

問5：将来の県庁舎のあり方として、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（単一回答／n=138）



同時期に実施したLINEアンケートを含めた回答の年齢別・地域別クロス集計結果 ※無回答、その他の回答は除外している。

